

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-528206 (P2004-528206A)  
 【公表日】平成 16 年 9 月 16 日 (2004.9.16)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-036  
 【出願番号】特願 2002-593122 (P2002-593122)  
 【国際特許分類】

**B 2 9 C 55/08 (2006.01)**

B 2 9 L 11/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 55/08

B 2 9 L 11:00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 24 日 (2005.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フィルムの対向端部を保持しながら流れ方向に沿って伸張機内で前記フィルムを搬送するステップと、

末広がりの経路に沿って前記対向端部を移動させることにより前記伸張機の伸張領域内で前記フィルムを伸張して前記フィルムの延伸領域を形成するステップと、

前記フィルムの前記延伸領域の前記対向端部を解放するステップと、

前記対向端部を解放するステップの前に、各前記対向端部内に位置する対向取り出し領域において前記フィルムの前記延伸領域を把持して前記延伸フィルムを前記伸張領域から取り出すステップとを含むフィルムを処理する方法。

【請求項 2】

前記対向端部領域と前記対向取り出し領域との間で前記フィルムの前記延伸領域を切断して前記末広がりの経路に沿って連続する耳を形成するステップをさらに含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記伸張機の伸張領域内で前記フィルムを伸張するステップが、末広がりの実質的に放物線状の経路に沿って前記対向端部を移動させることにより前記伸張機の前記伸張領域内で前記フィルムを伸張して前記フィルムの前記延伸領域を形成するステップを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

フィルムの前記対向端部を保持しながら流れ方向に沿って伸張機内で前記フィルムを搬送するステップと、

末広がりの経路に沿って前記対向端部を移動させることにより前記伸張機の伸張領域内で前記フィルムを伸張して延伸フィルムを形成するステップと、

前記対向端部領域と対向取り出し領域との間で前記延伸フィルムを切断して、残りの前記延伸フィルムが前記流れ方向に搬送される間に前記末広がりの経路に沿って連続する耳を形成するステップと、

前記延伸フィルムの前記対向端部を解放するステップとを含むフィルムを処理する方法

°

## 【請求項 5】

各前記対向端部内の対向取り出し領域において前記延伸フィルムを把持するステップをさらに含む請求項 4 に記載の方法。

## 【請求項 6】

前記伸張機の伸張領域内で前記フィルムを伸張するステップが、末広がりの実質的に放物線状の経路に沿って前記対向端部を移動させることにより前記伸張機の前記伸張領域内で前記フィルムを伸張して前記フィルムの前記伸張領域を形成するステップを含む請求項 4 に記載の方法。

## 【請求項 7】

フィルムを処理する装置であって、

前記フィルムの対向端部を保持するとともに駆動部材の作用下で流れ方向に沿って前記装置の伸張領域内で前記フィルムを搬送する把持部材を含み、該把持部材が移動して前記フィルムを伸張する末広がり経路を提供するようにその一部分が構成且つ配置されている搬送機と、

前記搬送機から前記フィルムを受け取るとともに、所望量の伸張後に前記フィルムの対向取り出し領域を把持して前記流れ方向に前記フィルムを搬送するための把持部材を含む独立取り出し装置とを含む装置。

## 【請求項 8】

前記対向端部領域と前記対向取り出し領域との間で前記フィルムの前記延伸部分を切断するように前記装置内に配置され、残りの前記フィルムの前記延伸部分が前記流れ方向に搬送される間に前記末広がり経路に沿って連続する耳を形成する切断部材をさらに含む請求項 7 に記載の装置。

## 【請求項 9】

前記末広がり経路が実質的に放物線状である請求項 8 に記載の装置。

## 【請求項 10】

前記フィルムが前記対向取り出し領域で把持されている間の前記フィルムの取り出し速度が前記伸張領域内の前記フィルムの速度より速い請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 11】

前記フィルムは、異なる高分子組成の複数の交互層を有する多層フィルムを含む、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の方法。

## 【請求項 12】

前記延伸フィルムは、反射型偏光板フィルムを含む、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の方法。

## 【請求項 13】

請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の方法に従って形成される光学フィルム。